



インドネシアで僕が感じたこと

具志堅 駿太郎

MRT 視察ではトンネルの掘削作業を見て、「縁の下の力持ち」という言葉はこのことかと思いました。沖縄に帰って、何気なく毎日通っている道の横で行っている工事現場などを見かけたら、どんな作業をしているのだろうと想像しながら歩きたいです。

SMAN62 では、現地の学生が英語を喋っていたのがすごくかっこよく感じました。せっかくインスタを交換したので、これを活かしてどんどん交流し、ぜひ英語をマスターしたいです。

カリバタ英雄墓地では、墓地の多さに驚きました。他にも残留日本兵の方々の活躍などを聞いて、「こんなに良いことをしているのに、何故このような仕打ちを受けなければならないのか」

と思いつても胸が締め付けられました。

リサイクルセンターでは、日本の鹿児島県大崎市で促進されているリサイクル方法を、インドネシアで広げているということを知りました。役所の方がメインというより、一般の人々からリサイクルが広まっているという点がとても面白いと思いました。沖縄では自分の知る限り、なかなかこのようなことはやっていないと思うので、沖縄に帰ったら親や友達などに伝えひろげていきたいです。

最後に、僕はインドネシアに行って、人のやさしさは国境を越えても変わらないということに気づきました。この経験を生かして、日本と海外とのつながりを強めていきたいです。